



〒030-0180  
青森市第二回廊町3丁目1番89号  
東奥日報社  
©東奥日報社 2012

号 外

詳報は朝刊で

# 寛仁さまご逝去

## 本県とゆかり深く 66 歳

### スキーマラソンに尽力

天皇陛下のいとこで「ひげの殿下」の愛称で親しまれた三笠宮家の長男寛仁（ともひと）さまが6日午後3時35分、病気のため入院先の佐々木研究所付属杏雲堂病院（東京都千代田区）で亡くなられた。66歳だった。住まいは東京・

元赤坂の赤坂御用地内の寛仁親王邸。

寛仁さまは岩木山スキーマラソン大会の総裁を長年務められるなど本県のスポーツ、文化振興にも尽力された。1977年の国体冬季大会を皮切りに、全日本学生ス

キー選手権（大鰐町）や競輪の寛仁親王牌（青森競輪場）など、県内で開催された各種スポーツ大会にご臨席。

中でも87年に始まった岩木山スキーマラソン大会では、自ら現地調査してコースを設定。大会総裁として時には自らも大会に出場

し、多くの選手・県民と交流された。また、私的にも八甲田での山スキーを長年にわたり楽しまれた。2001年には青森市で開かれた「三内丸山遺跡特別フォーラム」に出席された。

91年に食道がんを切除する手術を受けて以降、喉や舌のがん治療に伴う手術を繰り返した。昨年12月に入院し、今年3月にかけて2回手術後、入院療養を続けていた。福祉活動やスポーツ振興に取り組み一方、自らの治療体験を著作や講演で公表。患者本人ががんを勉強することや、医師に意思表示することの重要性を訴えた。



2000年3月の岩木山スキーマラソン大会で、ゴールした女子選手にお言葉を掛けられる寛仁さま